



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社よみうりランド

コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,129	△0.2	2,460	△10.0	3,050	1.7	1,897	—
25年3月期第3四半期	13,153	10.3	2,733	47.4	2,999	48.7	△2,657	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,804百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △3,123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	24.38	—
25年3月期第3四半期	△34.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	50,620	19,713	38.9
25年3月期	48,571	16,498	34.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 19,713百万円 25年3月期 16,498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	2.50	—		
26年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,136	△4.2	1,940	△34.3	2,678	△19.0	1,597	—	20.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	83,522,024株	25年3月期	83,522,024株
26年3月期3Q	5,731,045株	25年3月期	5,723,690株
26年3月期3Q	77,794,493株	25年3月期3Q	77,897,721株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
(役員退職慰労金制度の廃止)	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気が回復しつつあります。先行きについても家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。また、当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費も持ち直しておりますが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動が景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況の下、当社は9月に静岡県掛川市のゴルフ場隣接地と、10月に船橋競馬場の馬場内において太陽光発電を開始し、安定的に運用いたしております。また、11月からは、冬の風物詩として定着したイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催し、多くのお客様で賑わいを見せております。このように当社は、新たな収益構造の確立と他社施設との差別化を図り、一層強固な経営基盤を築いてまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日減の49日開催されました。重賞競走は6月の「関東オークス」、12月の「全日本2歳優駿」などが開催されました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、引き続き多くのファンが訪れ、好調に推移しております。船橋競馬は、前年同様39日開催されました。重賞競走は、5月にビッグレース「かしわ記念」、9月には「日本テレビ盃」が開催されました。かしわ記念開催に合わせ主催した恒例のイベント「おうまフェス2013～親子であそぼ。～」は、ファミリー層から好評を博しました。また、同日、新投票所「アタリーナ」をグランドオープンし、快適に勝馬投票券が購入できる環境を提供いたしました。さらに10月には「J-PLACE船橋」がオープンし、日曜日に開催しているJRA各競馬場のメインレースの発売を開始しております。船橋オートレースは、前年同四半期比4日減の52日開催されました。5月には恒例のGI「黒潮杯」、9月にはSG「オートレースグランプリ」が6年ぶりに行われました。なお、4月より入場料が無料となっております。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同四半期比3日増の275日実施されました。12月に迎えた5周年を記念し、数多くのファン感謝イベントを実施し、好評を博しました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は前期比1日減、船橋競馬、船橋オートレースは前期と同数となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、引き続き外部営業を強化したものの、台風の影響によるクローズがあったことなどにより、入場者は減少しました。なお、50回の節目の大会を迎えた「ゴルフ日本シリーズJTカップ」が12月に開催されました。よみうりゴルフ倶楽部は、台風の影響によるクローズがあったものの、外部営業による大口コンペの新規獲得や継続利用などにより、入場者は前年並みに推移いたしました。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連携した恒例のディナーイベントを開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、周辺のゴルフ場に先駆け、コンペでの順位が即時にわかる「リーダーズボード」機能をカートに搭載し、好評を得ました。9月には台風の影響によるクローズがあったものの、入場者数は前年並みに推移いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、集客が困難となる5月の連休最終日に競技会を開催し集客を図ったほか、タイムリーな優待施策などを実施した結果、台風の影響によるクローズなどがあったものの、入場者は前年並みに推移いたしました。なお、4月に市原鶴舞ICが新規開通したことで、高速道路からのアクセスが向上いたしました。

遊園地部門の遊園地は、桜をテーマにしたイベント「SAKURAKUEN」、全国のご当地グルメを集めたゴールデンウィーク恒例の「全国ご当地グルメ祭2013」を開催いたしました。5回目の開催となるほたる鑑賞イベント「ほたるの宵」では、願いを書いた短冊を取り付けてもらう七夕の笹や、三十六歌仙灯籠を設置し、イベントを盛り上げました。夏期は、清涼飲料水メーカーとコラボレーションし

た「スプラッシュバンデット」や冷たい麺やかき氷をテーマにした食イベントなどを開催し好評を博しました。さらに9月から10月にかけて5週にわたり週替わりで日本各地の食やお祭り、伝統芸能などを披露する新イベント「日本列島まるかじりフェア」を開催し、盛り上がりを見せました。11月からは4年目となる世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を開催しております。本年は、球数を200万球に増やし、プールWAIの流れるプールを利用したラブリーストリームエリアを拡張いたしました。アクアエリアでは、音楽とイルミネーションと噴水によりパリの雰囲気演出するイルミネーションショー「パリ・モナムール」を新たに開催し、好評を博しております。また、テレビCMなど、各種媒体での宣伝を積極的に実施した結果、12月には近年では最高となる月間20万人を超える来園者数を記録いたしました。これらの施策の結果、春の天候不良や秋の台風の影響によるクローズ、オープンシアターEASTの閉鎖等があったものの、入園者は増加いたしました。プールWAIは、引き続きエンターテイメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。人気お笑い芸人がプロデュースした放水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンススプラッシュ」、オリジナルのおもちゃのアヒル「ちょいキャップアヒル」を用いたレース大会、夜間のピアガーデン営業など例年人気のイベントにさらに磨きをかけ、好評を博しました。また、夏期としては15年ぶりにテレビCMを放送したことなども奏功し、プールWAIは過去最高だった前年を上回る入場者数を記録いたしました。温浴施設「丘の湯」は、プールWAIやジュエルミネーションなど、遊園地帰りのお客が増加したことなどにより、入場者は増加いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では遊園地と連携した「天安ほたるディナー」や「天安5大美食めぐり」などの新規イベントを開催し好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、様々なイベントが好評だったことなどにより、入場者は増加いたしました。20周年を迎えたゴルフガーデン(練習場)は、感謝企画などの施策や、天然芝を活かした練習グリーンでのイベントが好評を博し、入場者は増加いたしました。なお、10月に1周年を迎えた親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、きめ細やかな顧客サービスや様々なイベントが好評を得たことなどもあり、好調に推移しております。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は114億2千7百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより、12億1千8百万円(同15.8%増)、サポートサービス事業の売上高は、連結内部からの受注が減少したことなどに伴い、19億5千5百万円(同8.6%減)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は131億2千9百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益は24億6千万円(同10.0%減)、経常利益は30億5千万円(同1.7%増)、四半期純利益は18億9千7百万円(前年同四半期は26億5千7百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、夏のプールWAIが開設以来最高となる入場者を記録したことや、4年目を迎えている遊園地のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」の入場者が好調であることに加え、販売用宅地の分譲が予想より増加したことなどにより、概ね好調に推移しております。

しかしながら、通期の業績につきましては、整備費の一部を第4四半期に計上することや、今後の景気動向や天候等の不確定要因が多いことから、平成25年5月10日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社及び連結子会社は、平成25年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額の未払分116,310千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,558,154	2,227,903
受取手形及び売掛金	891,896	871,508
たな卸資産	218,796	266,277
繰延税金資産	167,741	91,677
その他	146,487	496,101
貸倒引当金	△892	△888
流動資産合計	5,982,185	3,952,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,306,613	16,490,538
土地	14,180,378	14,144,392
建設仮勘定	556,232	1,627,312
その他(純額)	912,464	1,524,025
有形固定資産合計	32,955,688	33,786,269
無形固定資産		
その他	97,524	95,273
無形固定資産合計	97,524	95,273
投資その他の資産		
投資有価証券	9,151,210	12,113,590
繰延税金資産	171,887	168,080
その他	212,718	504,233
投資その他の資産合計	9,535,816	12,785,905
固定資産合計	42,589,030	46,667,448
資産合計	48,571,215	50,620,027
負債の部		
流動負債		
営業未払金	499,380	557,072
短期借入金	970,000	970,000
1年内返済予定の長期借入金	1,325,800	637,700
未払法人税等	777,020	384,141
賞与引当金	123,617	32,409
その他	2,622,541	2,008,123
流動負債合計	6,318,360	4,589,447
固定負債		
長期借入金	433,000	—
繰延税金負債	1,048,437	2,203,627
退職給付引当金	578,845	584,885
役員退職慰労引当金	116,055	—
長期預り金	23,232,401	23,082,745
その他	345,770	445,887
固定負債合計	25,754,509	26,317,146
負債合計	32,072,870	30,906,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,552
利益剰余金	5,438,417	6,751,943
自己株式	△1,910,998	△1,917,203
株主資本合計	14,311,001	15,618,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,187,343	4,095,111
その他の包括利益累計額合計	2,187,343	4,095,111
純資産合計	16,498,345	19,713,434
負債純資産合計	48,571,215	50,620,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	13,153,648	13,129,942
売上原価	9,162,452	9,436,019
売上総利益	3,991,196	3,693,923
販売費及び一般管理費	1,258,166	1,233,725
営業利益	2,733,029	2,460,197
営業外収益		
受取利息	488	345
受取配当金	173,729	178,097
建設発生土受入金	102,589	404,120
その他	34,845	28,447
営業外収益合計	311,653	611,010
営業外費用		
支払利息	44,354	17,333
その他	337	3,576
営業外費用合計	44,691	20,910
経常利益	2,999,991	3,050,297
特別利益		
固定資産売却益	1,318	29,148
特別利益合計	1,318	29,148
特別損失		
固定資産除却損	152,565	85,469
災害による損失	10,616	—
減損損失	4,172,408	—
特別損失合計	4,335,589	85,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,334,278	2,993,976
法人税、住民税及び事業税	1,067,575	916,525
法人税等調整額	255,291	180,450
法人税等合計	1,322,866	1,096,975
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,657,144	1,897,001
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,657,144	1,897,001

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,657,144	1,897,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△466,029	1,907,768
その他の包括利益合計	△466,029	1,907,768
四半期包括利益	△3,123,174	3,804,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,123,174	3,804,769
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,627,793	1,050,727	475,128	13,153,648	—	13,153,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,596	2,070	1,664,344	1,676,011	△1,676,011	—
計	11,637,389	1,052,797	2,139,473	14,829,659	△1,676,011	13,153,648
セグメント利益	3,146,331	594,489	124,147	3,864,968	△1,131,938	2,733,029

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,131,938千円には、セグメント間取引消去△1,540千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,130,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,419,830	1,217,118	492,994	13,129,942	—	13,129,942
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,980	1,733	1,462,748	1,472,461	△1,472,461	—
計	11,427,810	1,218,851	1,955,743	14,602,404	△1,472,461	13,129,942
セグメント利益	2,714,615	743,497	106,294	3,564,407	△1,104,209	2,460,197

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,104,209千円には、セグメント間取引消去1,787千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,105,996千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。